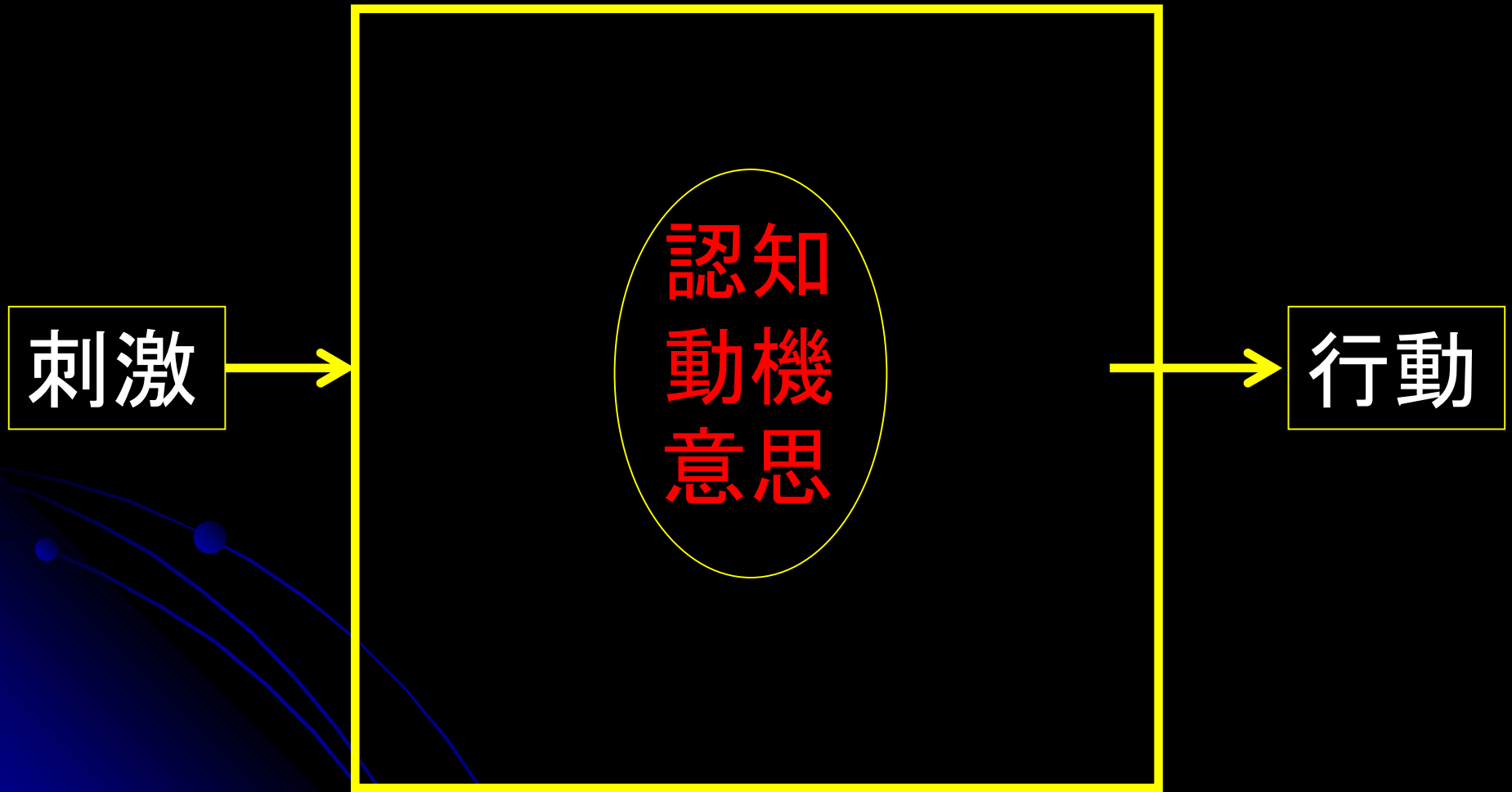


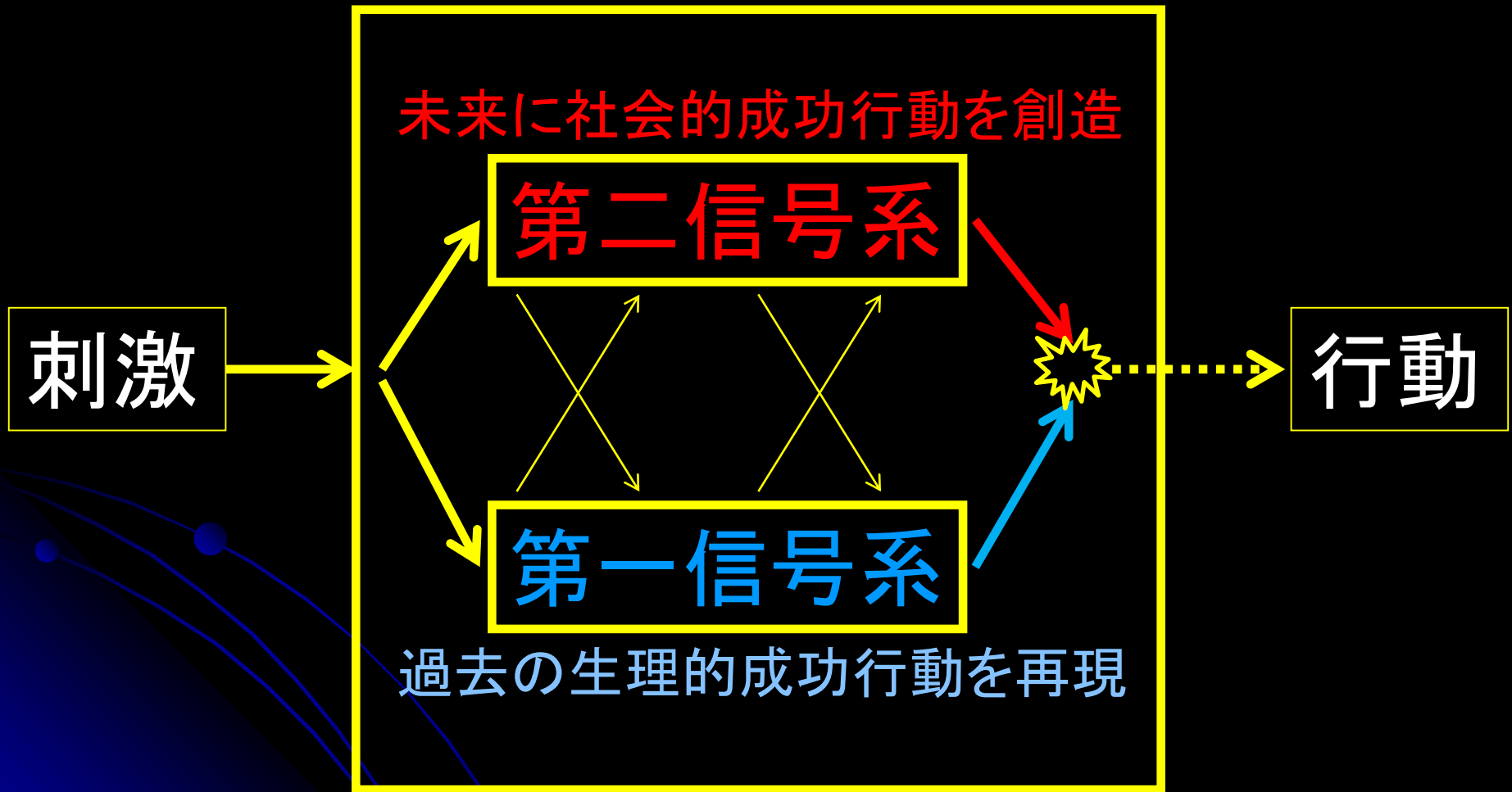
条件反射制御法学会オンライン研修会 シリーズ 1 講義 12

本当の行動メカニズムに適った技法と司法
重要図

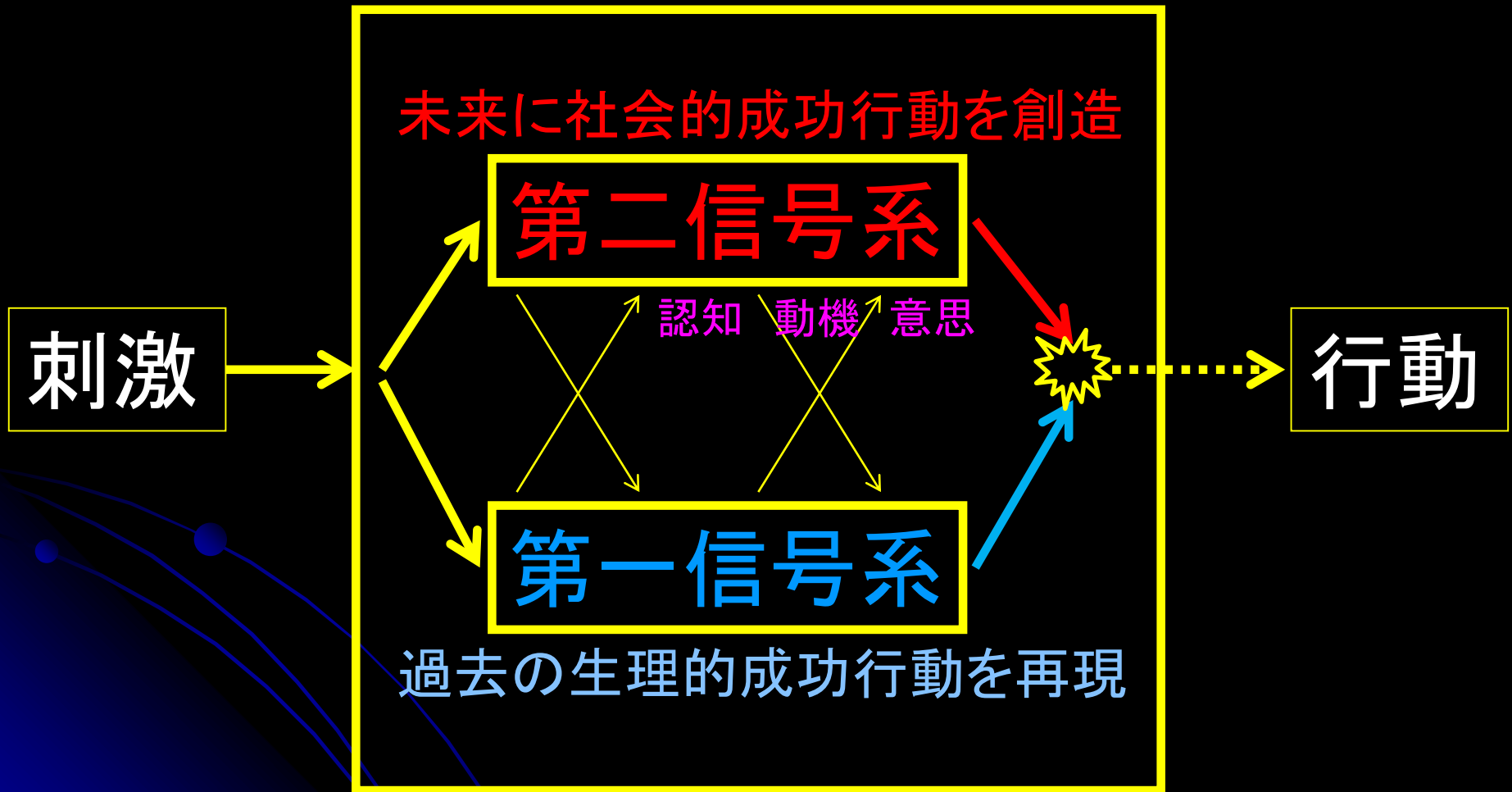
誤った理解：一つの中枢



ヒトの行動と二つの中枢



ヒトの行動と二つの中枢



2つの信号系でヒトが動くという理解

1000回目の覚醒剤使用は、
それを進める第一信号系が
それをとめる第二信号系より強い。

↓ 刑事司法体系の役割

第一信号系には治療と訓練を強制

第二信号系には教育と刑罰を強制

刑罰の対象は、

1) 可能な抵抗の怠り

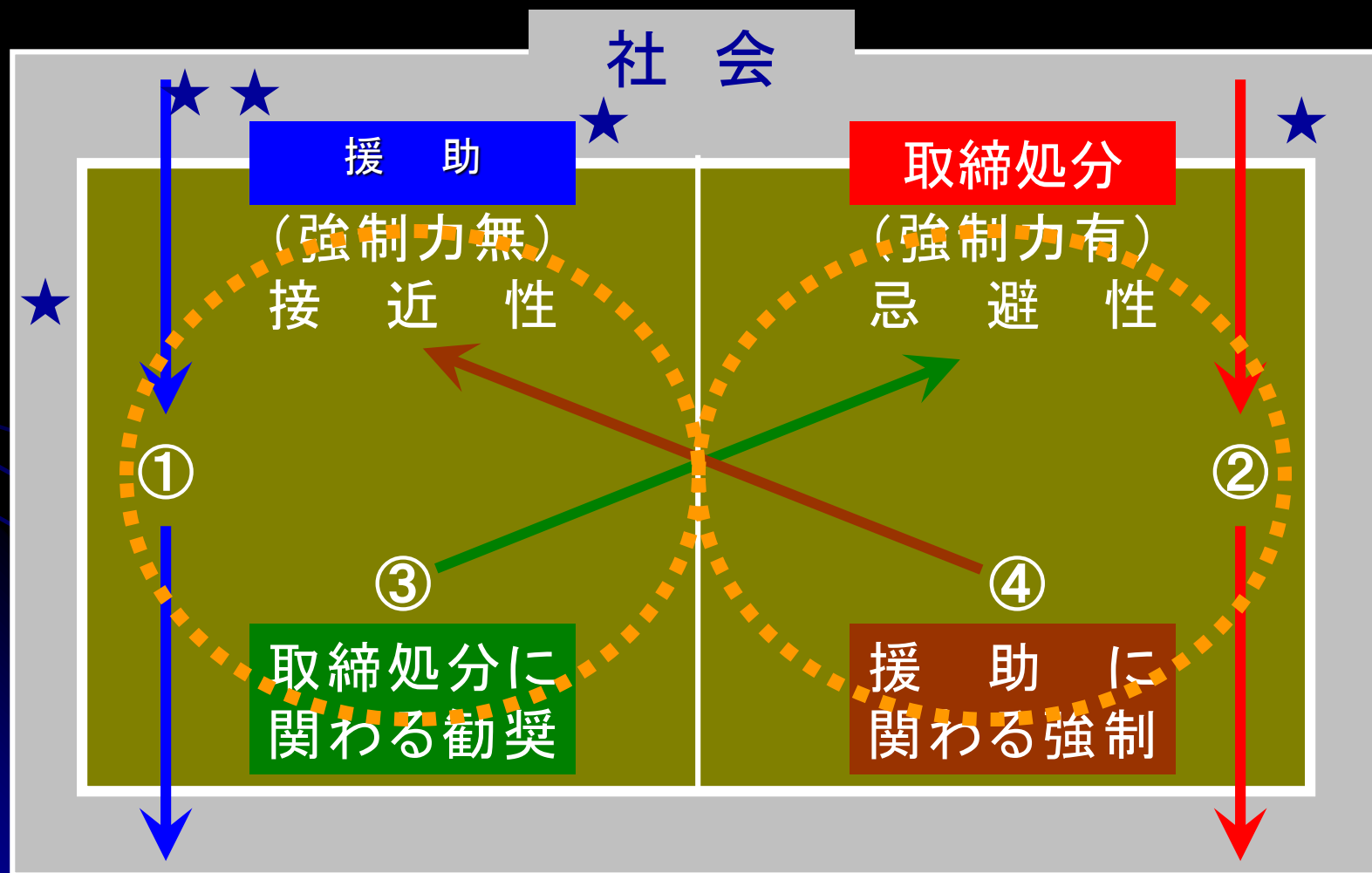
2) 治療や訓練の怠り(含: 検挙前)

取締処分と援助の長所を抽出し、 反復性違法行為削減の連携体系に適用

- **援 助**: 強制力無 → 接近性
→ 継続性(緩、長)
- **取締処分**: 強制力有 → 忌避性
→ 継続性(厳、短)

- いつも優しいのでかかわりやすい。
- いつも穏やかなので留まりやすい。
- いつも怖いのでかかわりたくない。
- いつも厳しいので離れがたい。

反復性違法行為削減のための 取締処分と援助の連携



逸脱行動を予防し その反復からの回復を促進する構造

